

こども部会設置に向けた進め方(案)

整理すべき課題

- ・部会の構成(委員の数や年代など)
- ・市の取組みについての、こども・若者の関心度合が低いという現状

Webアンケート テーマ「こどもの権利」R7実施済

総回答数 992件

小学校低学年(205) 中学生(292)
小学校高学年(210) 高校生年代(204)
大学生年代(81)



こども・若者ととともに取り組む活動の試行実施

まずは、高校生年代や大学生年代を中心に、メンバーを募り、「こどもの権利の普及啓発」を主な目的として、意見を反映させた活動を展開していく。

市としての活動について考え取り組み、提言する場を試行的に始める。ゆくゆくは市の様々な取組みに視点を広げ、話し合いや提言を行う中で市政への関心を高めていく。とともに、こども・若者の意見を聴取、反映させるための庁内の仕組みの構築につなげる。

(例)

- 市民向け出前講座
 - ワークショップ
 - 親子イベント
- などを一緒に展開することを想定

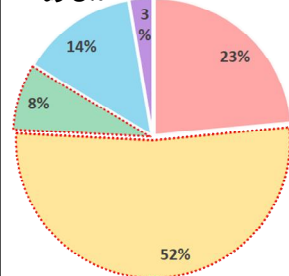
【こども・若者ととともに取り組む意義】

- 当事者であるこども・若者自身が伝えることで、聞き手の心により響く
- こども・若者自身にとっても、自分事として考えることができ、学びがある

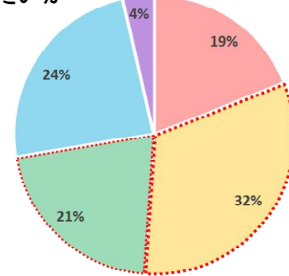
アンケートより

- ・子どもの権利を知らない人がほとんどだと思うので知る機会を作った方がいいと思います。(大学生年代)
- ・ちゃんと子どもにもこの権利のことを伝えて、「自分は守られる立場だ」という認識を持てるようにしてほしい。(高校生年代)
- ・大人も子どもも子どもの権利について詳しく学び、自分の権利を主張し権利で身を守るようにする為に子どもの権利について学び教えることができるようにしてほしいです。(中学生)
- ・親が子の権利のことにに関しての常識をつけるためにはどうすれば良いか話し合いたい。(9～11さい) etc.

市の取組について調べたり考えたりしたことがあるか



市の取組についての話し合いがあったら参加したいか



【松江市社会福祉審議会】
児童福祉専門分科会 **こども部会** 設置